



Angel

つくしの会 だより



2010年12月-11年3月号

発行

エンゼル幼稚園

〒297-0024

茂原市八千代1-11-1

Tel 0475-22-3210

Fax 0475-22-3116

園長 田中 恵美子

チャプレン 司祭 高田 眞

☆たがいにひびき合う☆

司祭 マルコ高田 眞

この間、年長さんのお別れ遠足と一緒にってきました。行き先は千葉市動物公園です。バスに皆で乗り、約一時間で到着。いろんな動物と出会い、楽しく過ごしてきました。毎年、フクロテナガザルに会うのが特に楽しみです。ここに来ると、このフクロテナガザルのほえるような泣き声が聞けます。わたしたちは「もっともっと声を出して!」という思いをこめて、フクロテナガザルに向かって、叫ぶように声を掛けます。子どもたちも先生たちも一緒になって。するとわたしたちの声にフクロテナガザルが呼応して、さらに大きな声を出し、それを聞いたわたしたちはますますうれしくなって来て、さらに大きな声で・・・と互いに呼応し合っていくのです。フクロテナガザルは人間の掛け声に次第に興奮していきます。そのうちにユーモラスに動き回り、いろいろな仕草を見せてくれるようになるのです。互いに響き合うということは、こんなにも楽しく、喜びに満ちたものなのだなどつくづく思われました。いいですね。互いに響き合うって。

カトリック教会の神父である塩田泉さんの歌に次のような詩があります。

♪喜ぶ人とともに喜び
泣く人とともに涙を流す
互いに祈り たがいに いたわり
惜しみなく与えよう キリストのうちに♪

これは新約聖書のローマの信徒への手紙第12章15節にある「喜ぶ人と共に喜び、泣く人と共に泣きなさい」という聖句をもとにして作られた詩(うた)です。

わたしの前に喜んでいいる人がいる。そのうれしそうな姿を見て、共に喜び、互いに歌い出し、ある時には踊り出す。

わたしの前に泣いている人がいる。その人の深い悲しみに、痛みに、苦しみにひびいて、それらを共にして、その人の最もそばに、近くに寄り添っていく。

そしてある時には、互いに神さまに感謝をささげ、賛美の祈りをささげていく。またある時には、そのことを深く覚え、祈り合い、いたわり合っていく。そして、その姉妹たち、兄弟たちに惜しみなく自らを差し出していく。イエスさまご自身が歩まれた道は、まさにそんな道でした。

そんな神さまの子どもにされたいと思います。「キリストのうちに」・・・イエスさま、天のお父さまとの愛に包まれていることに気づかされ、キリストの命にあずかることが子どもたちと共にできますように・・・とお祈りしていきたくて思いました。



☆一年を振り返って☆

間もなく一年を終えようとしています。振り返ると毎日色々なことがありました。思い出すのは子どもたちのおもしろ楽しいエピソードばかりです。最近の様子を2つ紹介します。

まずは、お別れ遠足での「猛ダッシュ」という出来事。1時間ほどあったグループ行動の時間にそれぞれ見たい動物を見て回ったはずなのですが……。子どもたちは猛烈なダッシュで走り回っていたせいか「(私 or ぼく) こうもり、見たっけ？」と聞いてくるのです。見たかどうか覚えていない子どもたち。それも何人もの子が同じことを口々に！あららら……。せっかく行ったのに何故もっとちゃんと見ないの？という職員の思いとは裏腹に、子どもたちは笑いながらあっけらかんと伝えてくるのですから大したもの。機会があれば、今度はご家族で改めてゆっくりと見て回ってください……。ですね。

もう一つは年長さんが中心となって行われたお店やさんごっこ。アクセサリーやさんやペットショップ。どちらも魅力的な商品がずらりと並んでいました。買うにはお金が必要と知っている子たちは貯めておいたお金を出してきたり、せっせと手作りします。欲しいけどどうしたら良いか分からない子たちは、おろおろ……。その様子を見兼ねた年長さんたちは「お得クーポン」を発券。クーポンを片手に「お金はある？」「何が欲しいのかな？」と声を掛けてあげます。買う事が出来た時の喜びようといったら！お店やさん役の子たちは自分用にと確保していたとっておきの品物も惜しみなく渡していました。そんなお店ですからオープンすれば大繁盛！エンゼル幼稚園には行列のできるお店があります。ぜひ一度は足を運んでみて下さい。

自然と生まれてくる素敵な姿がいつでもあります。年長さんはきっと小学校へ進んでも笑顔が溢れる毎日でしょう。年中さん、年少さん、桃組さん、新学期が待ち遠しいです。

文責：S. I



☆年中さんの英語☆

今日、今年度の英語の時間が終わりました。

どちらかといえばのんびりやさんで、恥ずかしがりやさんがそろっている年中さんですが、この一年間、グレアム先生と楽しく英語の時間を過ごすことが出来ました。初めの頃、恥ずかしがってまったく声の出なかった年中さん。英語で答えるところをしっかりと日本語で答えてしまっていたり、結局はグレアム先生ご自身がたどたどしい日本語で説明してくれたり……。BoysとGirlsの区別がまだ？？？の時もありますが、今ではIt's my turn! と元気に手を挙げられるようにもなりました。グレアム先生は30分間をととても上手に区切ってくださり、ゲーム、音楽、カードなど盛りだくさんの内容で指導してくださいました。

1学期の頃は「英語は恥ずかしいんだあ……」と言っていたA君も今では張り切って参加しています。誰よりも声が大きいかも。自信がついたのでしょう。「今度、英語のあるときは、皆は青組さんだね。」と言うとパッと顔が輝いた年中さん。きっと4月からもと～っても素敵な英語の時間を過ごして行けるでしょう。

文責・A. Y

☆豆まき☆



今年も恒例の豆まきを行いました。

もうすでに経験済みのお兄さん、お姉さんたちは、数日前からそわそわ…。反対に、初めての子どもたちは「豆まきって楽しそう!」「お豆食べたいなあ」と楽しみにしているようでした。(知らぬが仏とはこのこと!?)

そんな中、迎えた当日。給食を食べ終える頃には、子どもたちは興奮状態!中には、鬼が来るだしぶ前から、職員の側に寄ってくる子も。すでに半泣きの子もいました。

そして、ついに鬼の登場!必死で豆をまき、鬼と闘う子、大泣きで職員にしがみつく子、「ぜ～んぜん怖くない!」なんて言いながら、滑り台から降りて来ないお兄さんたち。さらには、最初から最後まで部屋のトイレに隠れていた…なんて子どもたちまで!その様子は様々ですが、子どもたちはそれぞれ真剣です。

鬼が退散すると、ほっと一安心。横割りでのお帰りととなりました。怖がりやさんの多い黄色組さんは半ば放心状態だったそうですが、それぞれ最後の最後まで鬼の話題で盛り上がり、楽しいお帰りとなりました。どんなに怖がっていても、終わればケロリなのが子どもなのです。

その後も、豆まきの話題は毎年1年を通して続きます。時々思い出しては「怖かったよねえ」「あの時鬼がさあ…」なんて、怖いの半分、おもしろいの半分で振り返って楽しむのです。そんな姿を見ていると、これも純粋な子どもの時にしかできない、貴重な体験なのだなあと感じます。そして何より、子どもたちの素直な反応は、本当にかわいくておもしろい!!

実は豆まきを誰よりも楽しんでいるのは、私たち職員…というのは、子どもたちにはナイショの話です。♪

文責:S.E☆

保護者の方より～初めてのお誕生会～☆

昨日、3月2日は初めてのお誕生会で親子共にとても楽しみにしておりました。園での普段の流れも園児たちの様子もよく分かり、とてもよい経験ができました。

先生に声をかけられると園児たちがきちんとお片づけをしているのには驚きました。Kは将来何になるのか、皆の前で発表する練習をしていたのですが、緊張のあまり言えなくなってしまいました。残念!でも予想に反して?あまりべったりではなかったのが、ちょっとづつお兄さんになっているのを実感しました。青組さんになったらどうなっているのか楽しみです。皆の前で発表できるとうれしいのですが……。

緊張屋の航平が普段のびのびと園生活を送れるのも先生方の見守り、アドバイスがあつてのことだと思います。安心してお預けすることが出来ます。これからもどうぞよろしくお願いいたします。



U.Kくんのお母さまより

3月生まれの子は自分の誕生会が来るのをひたすら待っています。恥ずかしがり屋のKくんも本当は大きな声で名前も「大きくなったら何になりたいか?」も言いたかったと思います。パパさんもらして、ファミリーそろって参加できてよかったですね。

Emiko



ボクに任せて

配本日だったのに帰りに絵本を渡すのを忘れてしまいました。あわててまだ残っている子だけに渡しているとその様子を見た Tatsuki 君が「先生、疲れているの？それとも忘れん坊さん？」にっこり笑顔で心配してくれました。そして「先生、Tちゃんに任せておいて！」と言ってくれました。お任せしますと言いたいところですが、大丈夫かな？



病み上がり

インフルエンザががり、今日は久しぶりに登園した Fuma 君。待っていた Reo 君が嬉しそうだった。Fuma 君は寄って来る Reo 君に「ちょっと待ってくれよ。」と照れくさそうに言うが、嬉しそう。お弁当の時「Reo 君、オレのいない時、誰と食べてた？」と聞く。Reo 君は「う～ん。けっこうさびしかったんだよ。他にも子どもはいたけどね。」と大人発言をしていた。

節分①秘策

Maho ちゃんは鬼に連れ去られた場合、家の電話番号を覚えておいて鬼にちょっとだけ電話を貸して下さいと言ってママに電話するそうです。子ども同士、真剣に秘策をねっていました。

節分②キャリア

明日の豆まきを年少さんは“楽しみ”、年中・長の中には“こわい”という子もいる。Maho ちゃんは自分は4年目で4回も豆まきを経験するんだと Miyuu ちゃんと Fuma 君に説明。そして「あ～、明日、熱出ないかなあ。」Miyuu ちゃんも「そっかあ、熱あれば休めるね！」「熱、出ないかなあ～」と二人で発熱を望んでいた。



節分③肝心な物

鬼の面作り。Yuma 君は角をつけるのを忘れていたらしく、外に遊びに行ってから、慌てた様子で戻って来た。「先生、角忘れた。大変だ！」と真剣。急いで角をつけ、一安心。「角がないと人かと思われて、連れて行かれちゃうから。」かなりドキドキしているようだ。

しっかり！黄色組男子①縄跳び

縄跳びは女の子が得意。男の子は？

体操の先生は根気よく丁寧に教えてくれるが、少々マイペースすぎるというか、ヤル気がいまいちの男の子。田辺先生が説明しても「あれっ？」とビックリされてしまうくらい男の子が聞いていない。「1回とべたからもういい。」と言い切った Kai 君をはじめ、欲がないのかな～？ 結局、5回続けてとべるようになるよう宿題を出してもらった年中さんの男の子。でも練習している子は誰もいません。

しっかり！黄色組男子②ランニング

楽しく走ろうが今日からスタート。初日なので時間も短め。年中さんは張り切ってよく走っていた。朝、嫌がっていた Kei 君も参加。年中さん、その後すぐに体操があり、なかなかハード。体操の後、着替えをしながら「あ～、今日は体力全部使ったかも。」と Fuma 君、Reo 君、Ryohei 君。Fuma 君は「疲れた」が口癖。「走ったしね。疲れた」と Reo 君。床に座り込む Ryohei 君。この姿を見て、Miyuu ちゃんは「それじゃあ青組になれないよ！」女の子の方がしっかりしている。

蒸しパン作り①

待ちに待った蒸しパン作り。りんご切りも含め、全部の工程を全員でやるので、子どもたちも楽しみにしてきたようです。りんご切りは子ども用の包丁を使ったので、補助をしなくても自分で切れる子がたくさんいました。「お手伝いしたことあるもん！」なんて得意気でした。粉を混ぜ、生地を作り、アルミの型に入れるのも順番で、全員で。お手伝いのお母さん方がとても上手に声を掛けて下さっていて、和やかに楽しく作業が進んでいました。

蒸しパン作り②

お弁当の時、蒸しパンを食べる。なんとことりの部屋では蒸しパンを残した子はいない！すごい食欲でほとんどの子がお弁当も食べ、完食。私が「アルミを口に入れると切れちゃうから口に入れないで」と注意したので、子どもたちはアルミを広げ、指で蒸しパンを残らずきれいに取って食べていたのにはびっくり。ほとんどの子のアルミはピッカピカだった。



いいなあ

年長さんがお別れ遠足を前にして盛り上がる中、うらやましい Ryouna ちゃん、Nijise ちゃん。

「いつになったら青組さんになれる？何回寝たら？？」
 まだまだあと2年は幼稚園を楽しんでください！

助言

お帰り近くなった頃、「ここまで作ったら片づけましょうね。」と言うとKokoroちゃんが「先生、間に合うの？隣のおへや、見てみなよ。青柳先生はパッとやってピュッと終わりにしてるんだよ。大丈夫？」子どもの目にはどう映っているのでしょうか？きっと心配のまなざしなんですよ。



おいしい〜い製作

今日は画用紙の中のお家にお菓子を貼ってお菓子の家を作る製作をする。欠席の子が多いので、作りたい子のみ自由参加にしたが、8人全員「作る！」と張り切っている。お菓子の形に色を塗りながら「あ〜、これ食べたい。」「イチゴにしよう。」「えりこ先生なら、これ一口だね。」とKai君。「そうだね。」とうなずく。えりこ先生のイメージは「おやつ」になっているようだ。その後は切り抜き作業。かなりお菓子が小さく、数も多かったが、「これ楽しい」と時間がかかっても作り上げていた。こうしてみるとKei君もWataru君もずいぶんとハサミの使い方が上手になったものだ。

The 個性

ここ最近、朝が不調のManaちゃん。今日も半ば強引に預かったものの、しばらくは泣いて泣いて私のことをたたく、蹴る……。それがおさまると、今度はテラスの緑の床をひたすら足で蹴り続け、タイツがずり下がって、まるでお殿様の着物のように！それでも頑としてタイツも直させず、部屋にも入りません。それを続けることおよそ15分。もうやりきったのか気が済んだのか、はたまたまた疲れたのか、何度目かの「へやに入ったら？寒いでしょ？」の私の声に素直に従い、中に入って来ました。嫌がることなく支度をし、話しかけると笑顔も出るくらいご機嫌も回復したよう。その後はうそのようにいつものManaちゃんに戻りました。それにしても素晴らしい頑固さ！姉のMayuちゃんともまた違ったおもしろい表現をついつい観察してしまいます。

成長

体操のサッカーでは、毎回大大号泣だったYasunobu君。でも今日は違いました。「今日は

サッカーやらないよ。」という藤井先生に自分から「やりたい！」と訴え、「泣かない！」と自分から宣言。いざ試合が始まるとやはり他の子がゴール。悔しそうに一瞬だけ唇をかんだけど、私のところに来て、涙をこらえ「ヤス、泣かない！」そのいじらしい様子に私もウルウル……。サッカーの試合の意味を理解し、悔しさをこらえ、頑張ることのできたYasunobu君の成長はとっても大きいです！



最愛のママ

お姉ちゃんのお誕生日で今日はRyousei君のママが一日いました。予想通り、いつも以上に甘えん坊。少し離れた所で私と一緒にいたときのこと、「ママってかわいいよね。今日はお化粧してるんだ。でもね。してなくてもかわいいの〜。パパもママのお顔が大好きなんだよ〜。」なんともかわいいRyousei語で話してくれました。

ひな人形の製作

今日のひな人形の製作は大きな花のついた豪華版！花は1つ1つ子どもたちの手作りです。まずはお花紙をじゃばら折り。年長さんはほとんどの子が最初から折れました。ちょっと手間取っても数回折ってあげれば大丈夫。年中さんも上手。普段からリボンを折っているMahoちゃんやMikiちゃんは年長さんにも負けなくらいキレイでした。そして年少さん。なんとRui君とNatsumiちゃんとkanonちゃんは最初を折ってあげたら、自分で出来ました。他の子たちも手伝いながら少しずつ、一生懸命に仕上げました。紙をやぶらないよう注意しておいたので、皆そ〜と紙を開いていました。息も止めているのでは？と思ってしまうほど真剣！そして出来た花の上にふんわりおひなさまを乗せるととっても可愛い！どの子のおひなさまも本当にステキに可愛らしく仕上がりました。



☆トビックス☆ ～ A new born baby～

S.S くんのおうちに女の赤ちゃんが生まれました。

お名前は 玲奈(れいな)ちゃん

ふっくらほっぺはお兄ちゃん譲り！なんとも可愛いです。



編集後記

◇今日の職員会議で年長担任の「先生から今年の年長さんは年間の行事すべてが欠席ゼロだったことを聞きました。改めて「それは良かった」とうれしく思いました。あと残るは卒園式だけです。この日も欠席ゼロであることを祈らずには居られません。

◇小学校入学の日も近づいています。初めて小学校にあげるお母様は何かと心配も多いようです。まずは健康で学校に楽しく通ってくれたら感謝ですね。

◇この時期、私の夜の時間の過ごし方。園児名簿を片手に六十一名の子どもたち一人一人を振り返っています。それぞれの子の成長ぶりに改めて感動させられます。「その子のその時に」保育者、先生たちがどのようにかわって来たかまで思い出します。

◇感謝でいっぱい！保育者、職員として至らないこともあります。どの保育者もどの職員も心をこめて一人一人を大切にまたそれぞれの役割を担当し合い、時には必死で子どもたちに接し、一年間を過ごして来ました。神様からたくさんのお恵みを頂いての日々、楽しくお仕事させていただいていることに感謝でいっぱいです。

◇いつも園を支えてくださる保護者の皆様に心から厚く深く感謝とお礼を申し上げます。



(園長 田中 恵美子)

◇追伸

原稿仕上げの段階で、想像を絶する巨大地震が東北地方から関東を襲いました。このあたりも今まで経験したことがないほど、ひどく揺れ、相当怖い思いをしました。自然の脅威の前には、人間はなすすべがないことを思い知らされます。不幸にも命を落とされた方々のご冥福を心よりお祈り申し上げます。まだ孤立状態になっている方々が、一刻も早く救助されることを神さまに祈るのみです。(柳瀬 伸子)